

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」刈谷校			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性のある支援を行っていること。 お子様のニーズを十分に把握した上で、その子に合った適切な支援を行ったり保護者様に支援の見学の機会を設けていること。	フィードバックの時間を十分に取っており、そこで各支援員から細かく支援の内容を報告していること。また保護者様に個別に声をかけてお子様が頑張っている姿を見学することが出来るという声掛けをしている。	フィードバックの時間に5領域の中で何を目的として支援プログラムを立てたのか、また今回の支援の内容をもとに次回はどのような方向性で支援プログラムを立てるのかを保護者様に説明できるようにする。
2	職員と保護者様の意思の疎通や情報の伝達が出来ていること。	上記の内容に付随する部分ではあるが、フィードバックの時間に支援の様子の共有だけでなく、園や学校、家などの様子も保護者様から情報として提供してもらっている。またフィードバックの時間で足りない時はこちらから家庭支援として事業所内相談の方も設けていることを提案している。	実際支援の中でこれまでになかったお子様の気になる行為や様子が見られる時は、各支援員から家や学校などの様子を聞き取り、場合によっては事業所内相談を行い、問題の解決を図れるようにする。
3	お子様が「きらり」の支援を楽しみにしていること。	刈谷校職員全員はお子様の得意な所(好きなこと)や苦手なことを把握した上で支援の準備を行い、さらにお子様のやる気を出させるためにどのような順序で行えばいいのかを考え自己肯定感を上げるための工夫を行っている。フィードバックを行う際にも各職員が保護者様に説明を行っている。	お子様の苦手な部分だけ注目をするのではなく得意な部分(好きなこと)に視点を当て、苦手な部分をカバーしていき「できた」という経験を増やせるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの問題について(特に階段部分に不安を感じる部分がある)	以前の校舎では建物の1階だったため、階段の上り下りの心配はなかったが新しい校舎では支援室が1階と3階になってしまったため、転落等がないか心配と考えられる。	お子様が階段で滑って行かない、もしくは一人で勝手に上り下りをしないように階段の移動は職員が1名以上付き添い、事故防止に努めている。また手すりの設置や階段に滑り止めを設置し、安全対策を強化している。
2	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催により、保護者様同士の交流の機会が設けられていない。	実際開催をする機会もなかなかなく、開催しても日頃からお会いしていないと参加者も少ないと考えているため、なかなか開催することが難しいことが考えられる。	まずは同じきらりで父母の会を行っているところでのように行っているのかを参考にし、内容をもとに保護者様に周知を行い必要に応じて保護者会を開催出来ると良いと考えている。
3	非常災害の発生に備え、定期的な訓練、救出その他必要な訓練が行われているかどうか。	実際刈谷校では1ヶ月に1回以上、安全計画に基づいた研修や、非常災害に備えた訓練を実施している。時には実際にお子様にも地震や火災を想定した訓練に参加してもらったこともあるのだが、参加人数がまだ少ないため、保護者様にあまり周知できていないのではないかと考えられる。	実際に職員が行った避難訓練に関してはブログなどのSNSを通して保護者様に周知する。また刈谷校の掲示物コーナーを上手く利用して訓練を行ったことを伝える。避難訓練を実施する際には保護者様に参加できる旨を伝え、お子様が参加できる機会を増やす。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」刈谷校

公表日 2025年 2月 1日

利用児童数 15

回収数 12

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	0		お子様の特性に応じて部屋を変更するなどの配慮も 行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	2		基準の人員は満たしています。 職員の配置に関してご不明な点がありましたら、児 発管にお問合せ下さい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	2	0	3	子どもに分かりやすく構造化された環境とは思 いません。バリアフリー化については分かりませ ん。	階段の部分心配される意見がありました。解散は 転倒防止のために昇降の際には職員が1名以上つ いて転倒防止に努めています。また階段に滑り止めを 設置致しました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	11	1	0	0		お子様に対して気持ちよく過ごしてもらうために清 掃作業は徹底しています。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	12	0	0	0	非常によく感じます。よく見ていてくれるとい うのが、支援後のフィードバックでよく分か ります。	ありがとうございます。これからも保護者様に失礼 のないように対応させていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	12	0	0	0		支援プログラムに関しては公表だけではなく、各指 導員からどのような目的で行っているのかを説明 しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	12	0	0	0		個別支援計画に関しては、保護者様にコピーをお渡 ししています。内容の変更の希望がある場合は事 業所内相談等を通して、お子様や保護者様のニーズ にあった計画に適宜修正しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		こちらの項目に関しては個別支援計画に全て記載を しています。保護者様同意の上、具体的な支援内容 を設定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	今後のプログラムの見通しがより具体的に分 かるとさらにありがたいです。	ご意見ありがとうございます。職員全員に共 有し、今回の支援を踏まえた上で次回行を行 うかを伝えるようにしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	10	1	1	0		(いいえのご意見回答なし) 当日のお子様の状態に合わせて支援プログラムを調 整しています。また支援の内容を踏まえて、見直し 及び量の調整なども行っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	2	1	3	5	他の子どもと活動する機会は今と違う が、今のままでいいと思っている。	ありがとうございます。必要性が出てきましたら今 後検討させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		契約時に専門用語を使わずに保護者様に分かりやす く説明をしています。不明な点があった場合には個 別に対応しています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	1		基本的に契約時にはこのような形で行うという同意 を頂いた上で支援を行っています。計画を更新する 際にも必ず同意を得た上で支援を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	3	1	2	5		(未回答1件あり) 一部の保護者様にはペアレントトレーニングを実施 しています。ご希望がありましたら管理者はじめ職 員に伝えていただければと思います。また公演イ ベントの案内ももう少し目立つ場所に設置させてい だきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	12	0	0	0		フィードバックの時間を中心にきらり以外の様子を 共有する時間を設けています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	1	2		事業所内相談や保護者が実際に支援の場面を 見学する中で伝えていますが、完全に周知出 来ているとは言えないので改善させていた きます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1	0	0		1件どちらともいえないという意見がありま した。情報共有を徹底し改善に努めていま す。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	7	5	・勉強会のような場があってもいいと思う。 ・父母の会に関しては日頃からお会いしてい ないと参加者も少ないのではないか。 ・交流の機会はないが、今のままでいい。	様々なご意見ありがとうございます。まずは 地域から信頼される事業所を目指してい き、父母の会に関しては必要性が出てきたら検討 させていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	1	保護者様から何か連絡や意見があった場合には速やかに対応し、いち早く意見を出していただいた保護者様に満足出来るようにしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0	ありがとうございます。これからも失礼のない丁寧な対応をしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	4	1ヶ月に2回の頻度でブログを更新しており、保護者様にも周知しています。ただし新しく入られた方に関してはまだ周知徹底が出ていないので、個別に説明しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0	個人ファイルの管理（個人情報がかかれていものも含む）は厳重にしているのはもちろんのこと、職員同士の会話においてもある特定の利用者と断定できるような発言はしないようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	3	以前のアンケートでどこにあるかわからないという意見を受けまして、玄関にマニュアルの方を設置させていただきました。新規の利用者様に対しては契約時に説明しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2	1	5	職員間では1ヶ月に1回、地震や水害、様々な非常事態を想定した訓練を行っています。一方お子様に実際に参加していただく訓練はまだ回数が少ないので参加の機会を増やしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2	0	0	刈谷校の安全計画に基づき、お子様の安全確保に努めています。また不審者を想定した訓練や研修も行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	2	重要事項説明の際に事故などの対応について説明しています。一方で分からないという意見もありましたので、改善させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	0	お子様に対して楽しく支援に参加していただけるように配慮しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0	ありがとうございます。お子様にも保護者様にも満足できるように今後とも努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	・満足しています。もっと利用時間が長くてもいいのと思うくらいです。 ・最近タブレットのゲームが出来ないと楽しみが減ったように感じますが、ゲーム目的の通所は本末転倒なため、きらりに通う目的も改めて家庭で伝えています。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」刈谷校	公表日	2025年 2月 1日
------	-------------------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	7	0		
	2	7	0		
	3	5	2	階段の部分がやや危険ではあるものの、手すりをつけたり滑り止めを設置したりするなど、適宜対処はしている。	お子様が昇降する場合は必ず職員1名以上を配置し、万が一お子様が階段で転んでも転倒しないようにする。(例：上るときはスタッフが後ろ、降りるときはスタッフが前)
	4	7	0	完全な個別の空間になっているため、お子様にとっても安心できる環境にしている。また掃除の徹底を行う。	
	5	7	0		
業務改善	6	6	1	朝礼の際に職員全員で共有できるようにしている。また朝礼では必ず議事録を作成し、全員に確認するようにしている。	「いいえ」の意見として管理者が徹底していないという意見があった。改善策として職員の認識に差異がないかを確認するようにした。
	7	7	0	保護者様アンケートや意見ボックス等を用いて適宜保護者様の声に耳を傾けるようにしている。保護者様から何か意見を頂いた時は上長とも協力をしながら早期改善に努めている。	
	8	6	1		職員の意見を聞く場面はMTを中心に行っているものの、伝達が中途半端ではないかという意見があった。6と付随するが伝達事項の認識に誤りがないかダブルチェックを行う。
	9	6	1	定期的に社内監査を行いながら、指摘事項を即是できる体制に整えている。	是正内容は職員に共有をし、運営などの改善に努めている。
	10	6	1	社内の研修は昨年より格段に増えており、法定研修も合わせて行っている。	「いいえ」の意見としては外部の研修もあるという意見も頂いた。定期的に市から出される様々な研修にも参加する機会を増やしていきたい。
適切な支援の提	11	7	0		
	12	7	0	年に一度アセスメントシートを用いてアセスメントの更新を行い、お子様の得意部分、不得意部分を把握し、支援プログラムを考えている。	
	13	7	0	原案を作成した地点で一度担当職員と話し合いを行い、改善する部分があれば適宜改善を行い、お子様のニーズに合った支援を行っている。	
	14	7	0	13の内容に付随するが完成した計画はサインをもらう前に一度担当職員に共有をし、最終確認を得るようにしている。	
	15	7	0		
	16	7	0	個別支援計画にはその内容を全て記載しており、刈谷校のスタッフに周知している。また分からないことはいつでも質問ができる環境に整えている。	
	17	5	2		「いいえ」の意見として、個別療育が主になっているので個人で行うことが多い。重要な事例の場合にはMTで共有を行っている。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	その日のお子様の状態であったり、またフィードバックの際に保護者様からの意見を取り入れながらプログラムの内容を調整している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	個別支援が中心になっているが、SSTの一環として他のお子様とお楽しみの時間に交流をしたりすることがある。	個別支援が中心となっているため、防災訓練など何人かで行う活動を交えながら集団SSTとして実践的に行えるようにしても良い。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	担当職員の変更の際、引き継ぎを行う場合には細かくこれまでの支援の様子、現在の課題等を分析している。	担当のお子様の情報をMT等で共有し、よりニーズにあった支援をするにはどうすればいいのかを話し合う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		「いいえ」の意見として、その日には出来ていない。翌朝のMTで気付いた点を全員に共有し、支援の質の向上に努めている。複数担当の場合はフィードバックを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録は遅くとも3日以内には書くように心がけている。職員が他の記録を確認し、漏れがないかを確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に1回必ず実施をしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	担当職員及び児発管がサービス担当者会議に出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		「いいえ」の意見として保護者様に周知されているのかが不明との意見があった。改善策として保護者様に適宜説明、掲示場所をより目立つ場所にする等の工夫を行った。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保護者様からの学校の情報であったり、保護者様の同意の基で支援の様子を学校や園の方に伝えたり、授業の様子などを見学する機会も設けている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	支援級か普通級かで迷っている場合には、保護者様から必ず学校の情報を提供していただいている。また必要に応じて事業所内相談を開いている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5		「いいえ」の意見として、児童発達支援センターとの連携はあまり図れていないのではないかとこの意見があった。改善策としてこちらから児童発達支援センターに声掛けを行い、スーパーバイズや助言を受ける機会を設けたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	「ほうでいって何？」のような市が開くイベントには積極的に参加をしている。	お子様同士の交流の機会が少ないので、交流のようなイベントにも参加をし、その機会を多くしていけると良い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		支援が終わった後には必ずその様子を保護者様に様子を伝えている。また保護者様によっては支援終了の15分前ほどから入っていたり、実際にお子様で支援で頑張っている様子を見学してもらっている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	全ての保護者様ではないが実施を始めている。	いいえと答えた人の意見としてはもう少し情報提供を広げた方がいいという意見もあるため、保護者様に周知していくことが大切である。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時の時に説明、もしくは保護者様から質問を受けたときには適宜対応をしている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリングの際保護者様からの意見や、支援員から見たお子様の様子等をふまえ児童発達支援計画を作成している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	支援を行う前の月に事前に保護者様に内容を確認してもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	フィードバックの時間にも設けている他、事業所内相談も合わせて行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7		個別支援かつ時間帯にもよるためなかなか父母の会の実施が難しい状況。長期休暇等時間にゆとりがある時に時間を見つけて行えると良い。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者様からの意見はすぐに全職員に共有をし、改善できる部分は即改善に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	ブログを用いて広報活動を行っているが、その規模をもう少し大きくしてまだ「きらり」を知らない人たちにも知れると良いと考えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人名を言わなくとも、その子であると特定されるような発言も控えるように徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		事業所の行事に事業所に通っている方は参加することが出来ているが、地域住民を招待することは難しい。移転したばかりなので、まずは地域住民の理解を得ることが大切である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	1ヶ月に1回必ず実施をしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	大地震を想定した避難訓練や、感染症の対策の訓練を適宜行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	体験時、契約時には確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3		保護者様から聞く場合もあるが、刈谷校は食事提供を行っていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	校舎備品の点検や、不審者の対応の訓練などを1ヶ月に1回行い、適宜見直しも行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時の際に説明を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	何かあったときにはミーティングにおいて共有を行い、再発防止に向けての対策を講じている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	会社で行われる法定研修に全職員が参加をしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	身体拘束については個別支援計画にも必ず記載の上、契約時には保護者様が理解しやすいように例を示しながら保護者様に同意を得ている。		